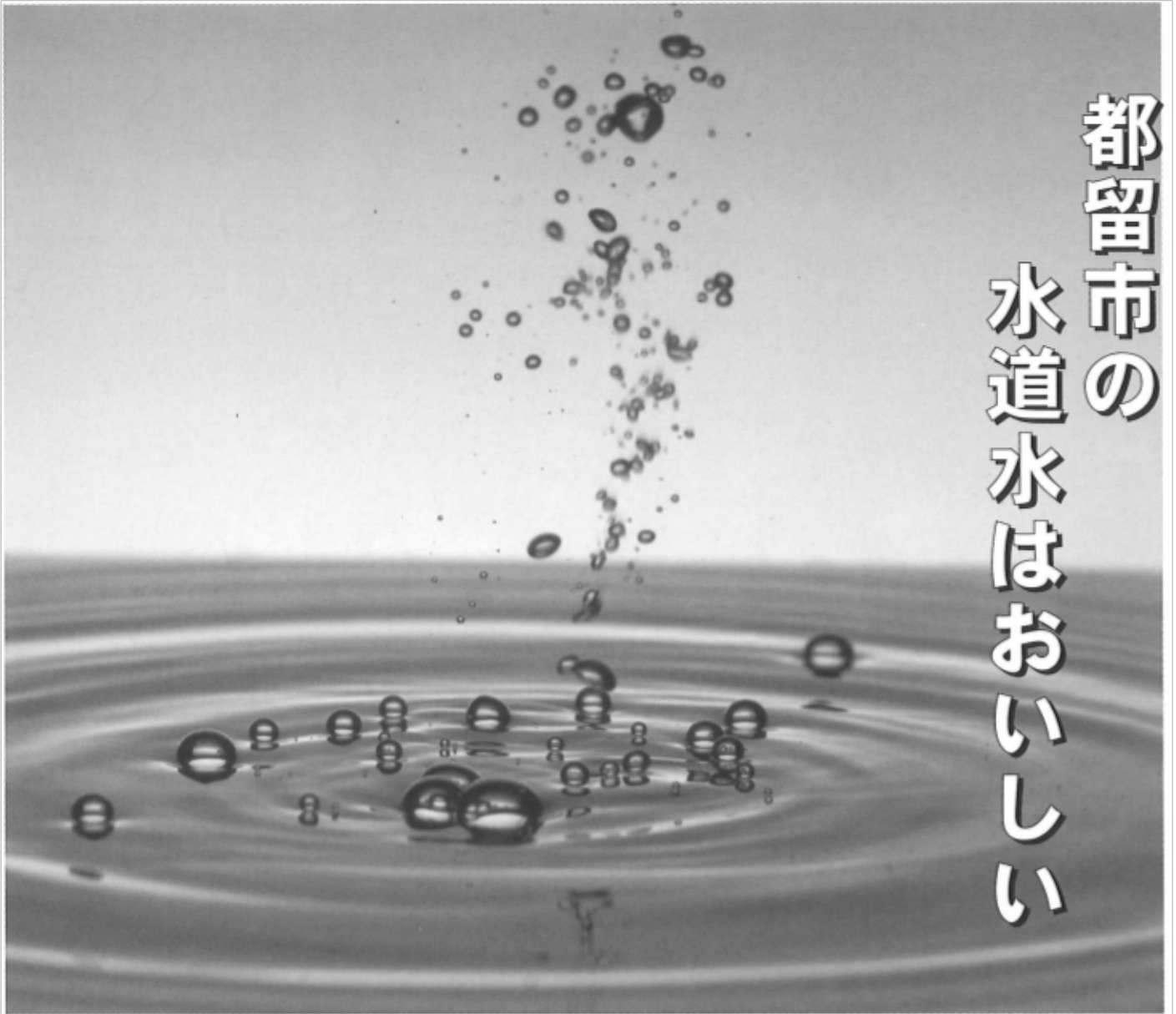


都留市の

水道水はおいしい



日本ミネラルウォーター協会のまとめによると全国でミネラルウォーター生産量は八十九万四千三百キロリットルで、輸入量は十九万五千三百キロリットル。うち山梨県内のミネラルウォーターの生産量は四十三万六千五百キロリットルで国内生産量の49%を占めており、なんと「日本一の産地」とゆるぎない地位を占めています。十数年前ミネラルウォーターが発売された時、皆さんは水を買う人がいるのか？なんて感じた人がほとんどではなかったでしょうか。しかし、今やどこのお店にいても当然のごとく数十種類に及ぶミネラルウォーターが所狭しと売られています。では、なぜミネラルウォーターがここまでシェアをのばしてきたのでしょうか。その背景には、水道水(特に大都市圏)のまずさへの不満や安全性への不信感などによるのではないのでしょうか。塩素臭く、トリハロメタンなどの発ガン性物質が含まれるなど水道水に対する悪いイメージが先行しているからです。そして値段の高いミネラルウォーターを買ってなおかつ安心を買っているからではないのでしょうか。また、これだけ多種多様なミネラルウォーターがあるなか消費者がネーミング(ブランド)志向ではなく自分にあつた成分などにより選んだり使用方法により選んだりしています。知っているようで実はあまり知られていない水。ミネラルウォーターの分類を表2に示しました。

そこでミネラルウォーターとはどういうものかまた、一般的に悪いイメージに思われている水道水と都留市の水道水との違いやミネラルウォーターよりおいしい都留市の水道水について知っていただき、この豊かで安全なおいしい水を見直していただきたい。私たちは、都留市の水道水に誇りを持ち、これからも皆さんが安心できるおいしい水を供給していきますので、水道事業にご理解をいただき水質汚染などおこさないよう住環境保護のご協力をお願いします。